

山梨近代人物館 第10回展示

近代文学に足跡を残した人々

— 県立文学館開館30周年 —

令和2年
3月28日まで
開催！

山梨なるほど情報

発行：山梨県広聴広報課 ☎055-223-1339

山梨近代人物館

山梨県庁舎別館2階・3階(甲府市丸の内1-6-1)



開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
休館日 第2・4火曜日/12月29日～1月3日
入館料 無料
問い合わせ先 TEL 055-231-0988
FAX 055-231-0991

山梨近代人物館



人物紹介室 半年ごとに展示を替え、テーマに沿った人物9人を詳しく紹介しています。

山梨近代人物館では、「山梨を再認識・発掘・発見する」をコンセプトとして、明治時代から戦前までの間、農林業、政治、経済、芸術、教育など幅広い分野で活躍した山梨ゆかりの人物を紹介しています。

第10回展示では、県立文学館の開館30周年を記念して、山梨と関わりの深い文学者の足跡をたどります。

- **村岡 花子**(甲府市) 「赤毛のアン」を翻訳。来日したヘレン・ケラーの通訳も務める
- **飯田 蛇笏**(笛吹市) 俳句雑誌「雲母」を主宰。格調高い作風で独自の地位を築く
- **永峯 秀樹**(北杜市) 「アラビアン・ナイト」を日本で初めて翻訳。近代日本の西洋文化の受容を推進
- **樋口 一葉**(東京都) 両親が甲州市出身。小説「たけくらべ」「にごりえ」など数々の名作を残す
- **浅川 伯教**(北杜市) 雑誌「白樺」などで陶磁器に関する論文を発表。「朝鮮古陶磁の神様」と称される
- **望月百合子**(富士川町) 平塚らいてうと共に「婦人戦線」創刊に参加。女性教育運動や翻訳などで活躍
- **中村 星湖**(富士河口湖町) 富士北麓の自然を舞台に少年たちの成長を描く小説「少年行」を執筆
- **大村 主計**(山梨市) 童謡「花かげ」を作詞。音楽業界や通信社などの要職を歴任
- **小川 正子**(笛吹市) ハンセン病医療に尽力。その体験をつづった「小島の春」がベストセラーに

(順不同・敬称略)

山梨近代人物館を探検してみよう！

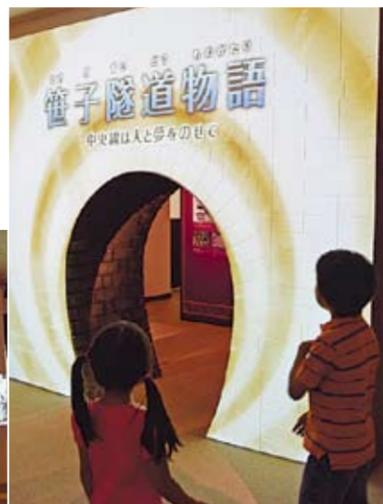


導入展示室

山梨の自然や風土、文化に関する映像とともに、明治時代から戦前にかけて活躍した、山梨ゆかりの人物50人の功績や残した言葉などを紹介しています。

笹子隧道物語

プロジェクションマッピングで、館内の笹子トンネルが語りかけます。次々と変わる映像で、その歴史を振り返ります。



子ども向け展示

パネルクイズ「ひらいて まわして やまなしのこの人だ〜れ？」や、タッチパネルで答えるクイズ「ふるさと人物伝」で、人物の生涯を学習できます。



旧知事室(上)・正庁(右)

山梨の発展を支えた先人たちの思いが詰まった県庁舎別館(県指定有形文化財)に整備した近代人物館に、創建当時(昭和5年)の姿で復元しています。正庁では、近代人物館主催の講座や県の式典など、多くの行事を開催しています。

